

# おかえり

ひきみどつながる。  
U1タウン情報誌2022.3月

## 特集

- ◆ 集落挙げて、そば作り 山根上集落
- ◆ ひきみ瓦版 テーマ：子どもとの交流
- ◆ 交流から滞在、そして定住へ
  - 民泊・日帰り体験
  - 田舎体験・ボランティア
  - 田舎暮らし体験施設
  - 就業支援・住まい
  - 空き家に関する各種事業



無事に脱穀作業を終え、素敵な笑顔をカメラに向けてくださった山根上集落の皆さん

# 集落挙げて、そば作り

## 山根上集落



新型コロナウイルスの蔓延によって、益田市匹見町のメインイベント「匹見峡春祭り」は2年連続中止になりました。祭りの主会場となる匹見峡レストパークに程近い山根上集落は、新緑がまぶしい季節になると、家の前を県外ナンバーの車が行き交います。



皆で協力し半日かけて脱穀を行いました＝令和3年10月24日

心となり、手打ちそばを振る舞うことにしました。山根上集落はなにかにつけてつながりが深く、活動できる世代も多く、自然な流れでした。

昔から各家庭でそばを栽培し、食べていたことから、取寄せたそば粉を使い、記憶を頼りに自己流で打ったそばを春祭りで提供しました。しかし、子育ての時期と重なるなどして、数年間続いた出店は中断しました。

そば栽培から収穫、そば打ちまで

子育てもひと段落した10年前、誰からともなく「そばもあるし、何かやろうや」と声があがり、春祭りへの出店を再開することになりました。



足踏式の脱穀機で息のあった作業

任意団体「山根上青年有志会」を立ち上げ、休耕田を活用し、土を耕し、草刈り、種まき、収穫、脱穀、乾燥、製粉と、みんなで協力してそばを作っています。

「初めて春祭りに出店した30年前は、つなぎが不十分なためか、茹でると短く切れる田舎そばでしたが、皆でDVDを観たり、各家庭でもそば打ちをして研鑽しました」と話すのは渡邊幸雄さん(69)です。手作りの出汁でいただくそばは、色白でコシのある細麺で、春祭りで提供する30食はすぐさま完売するようになりました。

そば打ちの技、共に研鑽

雪が舞う令和3年12月19日、新そばの試食会が山根上集会所で開かれました。秋に収穫したそばの実を製粉し、集落内で「そばの達人」と評される斎藤哲也さん(64)が、そばを打ちました。



網の上で、そばの実から汚れや葉を除去

10年前にUターンした斎藤さんは「お金をかけず、自分で作る」を信条に、麵棒掛けや麵台、こね鉢に至るまで手作りし、生家の土間を専用の場所に。地元で育てたそばと、山からの冷たい水を使い、20歳のときから独学で培った技で、そばを極めます。



「挽きたて」打ちたて「茹でたて」の新そばは、「香りものど越しも良い」「春祭りで提供するそばと一味違って美味しい」「みんなで集まって食べられるのは良い」と口々に。笑顔の花が咲きました。

息の長い活動が続ける山根上集落の皆さん。「今年の春祭りには、手打ちそばを提供したい。共通の願いです。」



母屋を改造した作業場でそばを打つ斎藤哲也さん

## 匹見上地区 大自然は子育てパートナー ひきみの川満喫大作戦！

コロナ禍の中、「ひきみの川満喫大作戦！」と銘打ち、匹見の保育所園児から小学生を対象に、川を満喫する体験事業を行いました。NPO法人アンダンテ21の協力も得て、裏匹見峡で溪流釣りや沢登り、鮎のつかみ取りを実施。昼食は、獲った鮎を子どもたちが竹串に刺して塩焼きに。地元のおばちゃんたちの手作り漬物や、おにぎりもご馳走になりました。



鮎を触ったり、川の飛び込みを怖がっていた子が、いつの間にか楽しそうに鮎をつかんだり、思い切り飛び込んだり。苦みのある鮎も美味しそうにかぶりついていました。大自然は子ども達を成長させてくれる子育てパートナーです。匹見の最大の魅力、大自然の体験事業を今後も企画していきたいです。

## 匹見下地区 昔の遊びや地域交流…「いいの里っ子塾」を開催

令和3年も押し迫った12月26日、地域の子どもたちや保護者さんとの交流を兼ねて「いいの里っ子塾」を行いました。当日はこの冬初の積雪にもかかわらず、5組16人の家族が集まりました。まず昔の遊びの体験を行い、「コマ回し」「自転車のリム転がし」、竹ぼっくりならぬ「缶ぼっくり」を地域の人と楽しみ、その後「竹灯笼作り」を行いました。



昼食は地域の方の手づくりのカレーライスを食べ、交流を深めました。午後には地域の方による「ポン菓子作り」を見学し、大きな音と共に飛び出すお米やマカロニに歓声をあげながら、それぞれ持ち帰りました。

## 道川地区 『ようこそ道川へ』PR看板を制作 ～ふるさとへの思いを込めて～

令和元年度から、益田市内の「明誠高校」の生徒たちが地域活動しようとして、各公民館を訪れ、様々な企画を立てて活動する事業が始まっています。

道の駅匹見峡に隣接する直売所「出合の里みちかわ」には、地元の小学生在が作った看板が飾られていましたが、制作から5年ほど経ち、劣化していました。



そこで、令和2年夏、明誠高校の生徒たちと、当時看板を作った地元の子どもたちが協力し「道川のシンボルになるように」との思いを込めて新しい看板を作りました。



取付時には、お披露目と受け渡し式も行い、地域の皆さんに喜ばれました。お近くをお通りの際には、ぜひ道の駅匹見峡、出合の里みちかわにお立ち寄りください。

# ～交流から滞在、そして定住へ～

まずだ暮らしキャラクター



ぐりお わさまる ゆずりん

ちょこっと匹見を体験したい方は… (令和3年12月末現在の情報です。)

## ◇民泊



### みよし 民泊「三四四」

- 体験内容  
料理体験(押し寿司、巻き寿司、郷土料理「うずめ飯」、手打ちそば、餅)、布ぞうり作り等
- 料金  
1泊2食付7,000円(食事は共同調理)※体験料は別途必要
- 住所・連絡先  
益田市匹見町道川イ214 tel/fax 0856-58-0020(三好)

## ◇日帰り体験



### うつだに 「内谷とちの郷」

- 体験内容  
料理体験(わさび漬け、こんにゃく、とちもち)、わさび収穫体験
- 料金  
直接お問い合わせ下さい。
- 住所・連絡先  
益田市匹見町石谷口561 tel/fax 0856-56-0589(村上)

## ◇田舎体験・ボランティア

### 【田舎体験】

匹見町では、豊かな自然を生かした体験をはじめ、「田舎料理体験」や「ものづくり体験」、「収穫体験」「歴史・文化体験」などを楽しむことができます。



わさび収穫体験

### 【ボランティア】

少子高齢化が進む匹見町では、集落内の共同作業やイベント開催などが年々困難になっています。そこで、地域外の方にボランティア会員登録をしていただき、軽度の作業に携わってもらうことで、田舎と都市との交流を図っています。



ブルーベリー摘み取り作業

## もっと匹見に滞在したい方は…

田舎暮らしの体験や、農林業またはその他の産業に関する技術や経営ノウハウを習得するために滞在可能な施設として、期限つきのお試し施設「益田市立田舎暮らし体験施設」を開設しています。

### 《使用者の条件》

- 益田市への移住を強く希望し、田舎暮らしを体験しようとする人
- 農林業その他の産業に関する技術や経営ノウハウの習得のため研修を受けようとする人

### 《使用期間》

1ヵ月以上3年以内

### 《使用料》

令和4年2月末現在

施設区分	戸数(空き戸数)	使用料(月額)
単身用(1DK)	2(0)	8,100円
世帯用(3DK)	2(2)	16,000円

※1部屋に1台分の駐車スペースを用意しています。

### 《使用について》

施設の使用については、市長の許可を受ける必要があります。使用希望の人は、「田舎暮らし体験施設使用申込書」を下記までご提出下さい。

(空室状況等詳しくは、益田市のホームページをご確認いただくか、下記までお問い合わせ下さい。)



## 匹見への定住をお考えの方は…

### ◇UIターン相談窓口

匹見への移住をお考えの方のために、相談窓口を設置しています。困ったことや分からないことがあれば、お気軽に下記窓口まで、ご相談ください。

### ◇住まい

空き家や公営住宅をご紹介します。

### ////// 空き家に関する各種事業 ////

#### 空き家バンク制度

益田市は、空き家の有効活用とUIターン希望者の定住促進を図るため、「空き家バンク制度」を創設しています。この制度は、空き家を賃貸あるいは売却してもよいと考える所有者と、UIターン希望者にそれぞれ登録してもらい、総合支所が窓口となり、空き家の情報収集・提供を行うものです。

年々、田舎暮らしを強く希望する方が増えています。匹見町内に空き家をお持ちの方で、空き家を「貸し住宅にしてもいい」「売却してもいい」とお考えの方がいらっしゃいましたら、ご連絡下さい。

#### 益田市空き家改修事業

「空き家バンク制度」の住宅を利用して定住する場合、その住宅を改修した際の経費の3分の1以内(上限30万円)を①空き家の購入者または入居者(UIターン者に限る)、または②UIターン者と賃貸借契約を締結した空き家の所有者に補助します。ただし、経費の額が30万円以上であるものに限りません。

※この他にも、空き家や住宅に関する補助制度があります。

## ◎ 定住・UIターンに関する問い合わせ先

益田市匹見総合支所 地域振興課  
〒698-1211 益田市匹見町匹見イ1260

電話 0856-56-0300 FAX 0856-56-0362  
ホームページ <http://www.city.masuda.lg.jp/teiju/>